

中学校給食、実態に即し対応を

横浜市会議員やまうら英太

中学校給食の改善は、私
が市会議員として活動を始
めて以来、一貫して取り組
んでいるものです。

軟に対応すべきと考えます。

市は平成26年度に「中学
校昼食に関するアンケート」
を実施、市ホームページ

ですが、市は現時点でその
予定はないとしています。
これに関して私は、あらゆる
場面で市長、市に対して

決定権を持つ横浜市は現
時点では、完全学校給食導
人に消極的であり、これま
で通り家庭弁当と「ハマ弁」

でも公開しています。し
かし、家庭弁当は継続と
いう前提の質問事項の上、
アンケート対象者の世代が

まず、市民のニーズを正確
に把握するよう求めてお
り、今後さらさら要求して
いきます。

頼みやすくなるものです。
こうした「心の問題」は見
落とされませんが、私はとて
も重要だと思えます。

の両立という方針を崩して
いません。しかし私は、民
意を丁寧に聞き取りし、柔

幅広いため、実態に即した
ものとは言えません。しっ
かりと声を聴く必要があります

頼みやすい環境づくりを
とところで「ハマ弁」の利
用者は1・1%と非常に低
い状況。この要因は何と言

国、市は女性の社会進出
を政策として推進していま
す。であるのなら、働きや
すい環境を整えていくのは、



横浜市会議員
やまうら 英太

◆東戸塚小、舞岡中、国際海洋高、オレゴン大
学卒業、グローバル経営大学院修了、㈱ニトリ
◆横浜市認定保育園園長(保育士) ◆衆議院
議員秘書 ◆2015年 横浜市会議員初当選

山浦英太事務所 戸塚区吉田町978-7
045-864-3112 <http://www.yeita.net/>

りても申込みの不便性にあ
ります。インターネット申
込みで、クレジット決済は
配達日の7日前、コンビニ
決済は配達日の10日前、F

すい環境を整えていくのは、
行政の役目。毎日のお弁当
作りの負担は多大了。
私は給食導入を含め、多
角的な面から中学校給食の
よりよい形を模索・提案し
て行きます。

分の注文となり、これでは頼みにくいのは当然。市が本気で喫食率を高めたければ、締切日の変更はぜひでも着手すべき。利用者が少しでも増えてくれば、周囲の目を気にしがちな思春期まつただ中の生徒たちも頼みやすくなるものです。こうした「心の問題」は見落とされませんが、私はとても重要だと思えます。国、市は女性の社会進出を政策として推進しています。であるのなら、働きやすい環境を整えていくのは、行政の役目。毎日のお弁当作りの負担は多大了。私は給食導入を含め、多角的な面から中学校給食のよりよい形を模索・提案して行きます。